

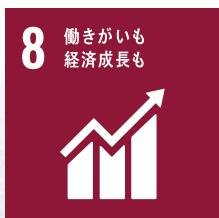
\ SDGsって、なに？/

最近、いろいろなところで「SDGs（エスティージーズ）」という言葉を耳にしませんか。
「よく聞くけど、よく分からない」という方も少なくないのでは？

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略称で、「持続可能な開発目標」のことです。
世界共通で取り組んでいる「SDGs」についてご紹介します。 問政策企画課☎754・6213



目標7 [エネルギー]
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。



目標8 [経済成長と雇用]
包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。



目標9 [インフラ、産業化、イノベーション]
強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る。



目標10 [不平等]
国内および各国家間の不平等を是正する。



目標11 [持続可能な都市]
包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市および人間居住を実現する。



目標12 [持続可能な消費と生産]
持続可能な消費生産形態を確保する。



目標1 [貧困]
あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる。



目標2 [飢餓]
飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。



目標3 [保健]
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



目標4 [教育]
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。



目標5 [ジェンダー]
ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行なう。



目標6 [水・衛生]
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

「持続可能な開発目標」とは？

持続可能な開発目標（SDGs）は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられた国際開発目標です。

これは開発途上国も先進国もすべての国々が、貧困や不平等のない安心して暮らせる豊かな社会をめざしながら、そうした社会を次の世代にも持続できるよう気候変動や環境保護などに世界共通で取り組もうというものです。2016年から2030年までの期間で達成することをめざしています。

理念は「誰一人取り残さない」こと

SDGsの理念は「誰一人取り残さない（leave no one behind）」です。開発途上国から先進国までのあらゆる国々で、2030年までに持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための目標として、右に掲げた17のゴールと169のターゲットを設定しています。

このSDGsを達成するためには、国や企業の取り組みだけでなく、市民一人ひとりが強い関心を持って取り組むことが大切です。それが「誰一人取り残さない」ことにつながります。

SDGsをもっと詳しく知りたい方は

国際連合
広報センター
(日本語)



外務省
JAPAN SDGs
Action Platform



内閣府
地方創生SDGs



関西SDGsプラット
フォーム



「私たちにも今日からできる
アクション」は5ページで

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

13 気候変動に
具体的な対策を



目標13【気候変動】

気候変動およびその影響を
軽減するための緊急対策を
講じる。

14 海の豊かさを
守ろう



目標14【海洋資源】

持続可能な開発のために、
海洋・海洋資源を保全し、
持続可能な形で利用する。

15 陸の豊かさも
守ろう



目標15【陸上資源】

陸域生態系の保護、回復、持続
可能な利用の推進、持続可能な
森林の経営、砂漠化への対処なら
びに土地の劣化の阻止・回復およ
び生物多様性の損失を阻止する。

16 平和と公正を
すべての人に



目標16【平和】

持続可能な開発のための平和で包
摂的な社会を促進し、すべての人々
に司法へのアクセスを提供し、あら
ゆるレベルにおいて効果的で説明責
任のある包摂的な制度を構築する。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



目標17【実施手段】

持続可能な開発のための実
施手段を強化し、グローバ
ル・パートナーシップを活
性化する。



身边に始まっている SDGs取り組みレポート

北豊島中学校SDGsフェスタ

昨年12月「誰も取り残さない、他人ごとにしない地域をめざして」をテーマに、北豊島中学校で「SDGsフェス！つながろう北豊島！！」を開催しました。生徒会本部が中心となり17の目標と関連付けた地域の各団体が参加し、地元野菜などの販売や、啓発展示が実施されました。また、イベントの中でも回収していたプルタブ・アルミ缶



は、高齢者向けの4点支持杖と交換し、市内の「介護老人保健施設かいせい」「介護老人保健施設たつみ」へ贈呈されました。



▲参加者の行動目標を集めて完成した「SDGsの木」

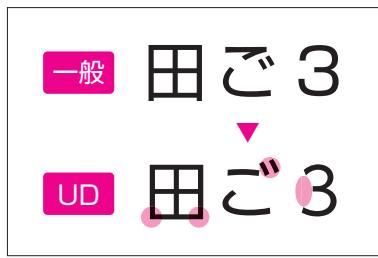
誰でも読みやすい広報誌のために

広報誌の文字は、全てユニバーサルデザイン(UD)フォントという書体を使用しています。UDフォントとは、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、多くの人が「分かりやすく読みやすい」ことをめざして作られたフォントのことで、読み書きが苦手な子どもや高齢者など、誰にでも優しい誌面作りに配慮しています。

また、電子版広報誌「カタログポケット」は、日本語のほか英語、中国語(簡体・繁体)、インドネシア語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語などの10言語で広報誌を読むことができ、自動読み上げにも対応しています。



▲カタログポケット



カタログポケット閲覧イメージ▶

天麩羅がカルタでアげる識字率!!

私たち「天麩羅（てんぷら）」は「ONE WORLD FESTIVAL for Youth（高校生のための国際交流・国際協力EXPO）」に出場するため、平成30年10月に渋谷高校の同級生で結成したグループです。SDGsの「4：質の高い教育をみんなに」「10：人や国の不平等をなくそう」への取り組みとして、

自分たちでカルタを作り、読み書きの難しい子どもたちが遊びながら自然に文字を覚えられるよう活動しています。

これから多くのイベントや大会への参加のほか、外国にルーツを持つ子どもや小中学生と交流を続け、池田市で暮らす子どもたちが過ごしやすいまちにしたいです。



▲天麩羅
リーダー漁元恵如さん



阪急宝塚線でも「SDGsトレイン」が運行中

阪急阪神ホールディングス㈱が2009年から取り組んでいる社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」が、10周年を迎えるにあたり、阪急電鉄では、お客様にSDGsに対する理解を深めるため、「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」を5月末までの予定で運行中。車体の外観だけでなく、車内ポスター・ステッカーなどをすべてSDGsに関連する内容に統一しており、その中に本市消防本部からの啓発ポスターも2月末まで掲示されています。



本市消防本部からの
啓発ポスター▶



＼あなたが踏み出すSDGsの第一歩／

私たちにも今日からできるアクション

一人ひとりの日常生活での行動が、SDGsの目標達成につながっています。今すぐ取り組める身近な例をご紹介します。ここからSDGsへの第一歩を踏み出しましょう。

あらゆる差別をなくそう



性別や国籍、性的思考や社会的背景、身体的能力に関係なく、人はみな平等です。それぞれ違이があることは当たり前で、自分と他人の違いを認め、それらを受け入れる心を持ちましょう。



本当に買わなくてはいけないものか考えよう



外出時はマイバッグやマイボトルを持ち、プラスチックごみを出さないようにしましょう。

また、流行に左右されず長く使えるものを購入することも考えましょう。



リサイクルでごみを減らそう



紙やプラスチックなどの資源ごみは、安易に捨てずにリサイクルすることでごみの削減や森林伐採を抑制できます。



友達や家族の相談に乗りみんなで支え合おう



心身ともに健康でいられるよう、また誰一人取り残さない社会のため、身近な人たちとそれぞれ相談し合い、支え合いましょう。



買い物は地元でしよう



できるだけ地元で買い物をすることで地産地消や地元企業を支援し、輸送のためのトラック運転の抑制や雇用の確保につながります。



水を大切に使おう



いつも当たり前に使っている水について調べることも、第一歩です。

また、食器洗いのときに汚れを先にふき取り適量の洗剤を使用するなど、生活排水を減らしましょう。



省エネを心掛けよう



電化製品のスイッチはこまめに切り、エアコンや掃除機のフィルターはこまめに掃除しましょう。

また、窓やドアの隙間をふさぐことでエネルギー効率を高めることができます。



池田市長 富田裕樹

「誰一人取り残さない社会の実現」のためには、私たち一人ひとりの意識が重要になります。

今回紹介した取り組み以外にも、SDGsへの取り組みは日常生活のあらゆるところに関連しています。

池田市民の皆さん、この機会にぜひ考え、ともに行動に移しましょう。